

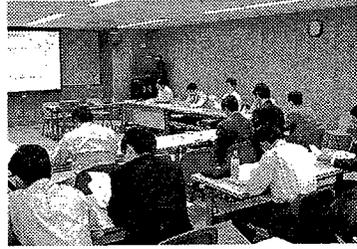
## 産学共同で技術向上へ

組込みソフト  
ウエア開発技研 総会と交流会

【豊橋】組込みソフト  
ウエア開発技術研究会  
(会長＝高田広章名古屋  
大学大学院情報科学研究  
科教授、事務局＝サイエ

ンスクリエイト内、電話  
0532・44・111  
1)は六日、二〇〇三年  
度総会と技術交流会Ⅱ写  
真Ⅱを開催した。

同研究会は、企業が独



自に取り組む「組込み  
ソフトウェア」の開発に  
ついて、三河地区を中心  
とした愛知・静岡県下の  
産学共同で、開発技術の  
水準を上げていくことを  
目的としている。組み込  
みソフトウェアとは、機  
械・機器に組み込まれて  
それらを制御するコンピ  
ューター・システムのこと  
を指す。

企業・学校関係者や学  
生など広く参加でき、会  
員数は現在四十一人。技  
術交流会や共同研究・開  
発、セミナーやワークシ  
ョップを開催している。

六日、開催された総会  
では、ソフトウェア関連  
だけでなく、ハードウエ  
ア関連企業の会員が増加  
していることから、会の  
名称を「組込みシステム  
開発技術研究会」と変更

した。また活動計画とし  
て技術交流会の毎月開  
催、組み込みシステム技  
術に関するサマールーク  
シヨップの開催などを決  
めた。

総会後の技術交流会で  
は、同会員で豊橋技術  
科学大学知情報工学系  
の市川周一助教授が「高  
性能化プログラミングの  
手法」について話題を提  
供した。